

新三役あいさつ

諏訪部豊 (E9)

電気工学科9期卒業の諏訪部です。社会に出てからもう10年もたっているのに、同窓会理事として時々学校へ行くたびに、つい先日までこの校舎に通っていたような気分が抜けません。しかも在学中はすこぶる付きの劣等生であった私によもや同窓会長などという大役が回って来るとは夢にも思いませんでした。これは謙遜なしのまったくの本音です。先輩、後輩、教職員方々の御協力を切に念願するところです。

さてこの3月の卒業生は20期（工業化学は16期）ということになり、本会の会員も約3,000人となります。これだけの人数になると印刷物の発送業務だけでも膨大な手間となります。が、幸いにも前任役員の方々の努力によってこの業務は外部依頼となったので理事への負担は大幅軽減されました。しかし会員の住所の管理は今後も本会の重要な業務として残る訳であり、管理方法の標準化等の検討が必要になって来ると思われます。

また各地に増えつつある同窓会支部との連絡や援助の方法等についても検討が必要になって来ると思われます。各支部役員の方々の御協力をお願いいたします。

同窓会は空気のような物で、普段の存在感は薄くてもないところまる物です。そういう意味であまり力まらずにかと言ってすべきことはしっかり行っていく、そんな感じで任期を全うして行きたいと思えます。重ねて各位の御協力をお願いいたします。

山本克之 (M17)

私が今年度より二年間副会長を勤めさせていただきますM17期生の山本克之です。

現在私は東芝機械(株)沼津事業所に勤務しております。

さて、これから副会長を勤めなければならない者が、この

様なことを書くと不真面目だと思われる方もいるかもしれませんが、正直なところ卒業してからこの大役を引受けるまで同窓会の存在は知っていましたが、会からの通知等が私の手元に届かなかったこともあり、ほとんど興味がありませんでした。この様な私に同窓会の副会長をやらないかという話が同じ会社の高専一期生の方からありました。最初は私の様な卒業後間もない者がと思ひ決心がつきませんでした。他のOBの方々や前会長の勧めもあり引受けることにしました。

ところで、会からの通知が私のところに届かない理由を、副会長の大役を引受けた後に私は知人より知りました。同窓会の住所不明リストの中に私が入っていたのです。弁解じみてしまいますが、入社直後に新住所の通知を出したはずなのですが…何かの手違いだったとは思いますが、この様なことが起きない様にしなければなりません。

副会長という役職名は付いていますが、私は学校と同窓会会員および同窓会会員同士のパイプ役となる様、これから二年間努力したいと思えます。皆様方の御協力および御助言をよろしくお願い致します。

平松雅彦 (M12)

初心表明をするに当たり、いささか事務長職を安易に引き受けてしまったのではないかと後悔ともいえるべき不安感がこのごろ増してきたように思えます。

私は入社して9年目、つまり同窓会理事になっても9年目でそろそろお呼びがかかる頃とは予期していましたが、当々現実のものとなってしまいました。

同窓会の仕事というのは、ここで改めて御紹介する必要はないのですが、会誌の発行、総会、名簿の作成とほぼ決った内容でパターン化しているようですが、これを毎年毎年と絶やすことなく続けていくことが大変で、いつも三役は苦勞が多いと理事でありながら人事のように思っていました。その私が前事務長の工藤君から後任の依頼があった時、ほとん

どためらわずにこの大役を引き受けてしまったのです。後から考えると少し大きですがそれは信じがたき事のように思えてなりません。その時はとにかくやってみようという強い気持が湧いてきたように思えます。

現在の同窓会は諸先輩方のおかげで非常に安定した状態にあり、私の力が及ぶかぎりではありませんが、同窓会のより一層の発展の為にベストを尽くせたらと願っています。最後に初心表明ということで発したところむしろ不安表明という形になってしまいましたが、これを同窓会支援のメッセージとして受け取っていただけたら幸いです。

新三役紹介

会長 諏訪部 豊 (E-9)

静岡電気(株)

副会長 山本克之 (M-17)

東芝機械(株)

事務長 平松雅彦 (M-12)

(株)電業社

補佐 小瀬 仁 (C-8)

監事 漆畑 豊 (E-1)

金田友義 (M-2)

総 会 報 告

事務長 工藤勝次 (C9)

昭和60年10月27日 ブケ東海において、昭和60年度同窓会総会が行われました。

同窓生70名に加え来賓・教職員の方々に御出席をいただき、2年ぶりに開催された総会は、総勢約100名になりました。

正午まえ小川理事 (E5) の司会による開会の辞で始まり、引き続き柘植会長 (M3) のあいさつのもと、議長団には議長齊藤猛氏 (M3) 副議長鈴木実氏 (E16) 書記塩川治氏 (M18) が選出され議事に入りました。

まず柘植会長より昭和58年度、59年度の事業報告、事務長より昭和58年度、59年度の決算報告の後、仁科監事 (M2) より会計監査報告があり、圧倒的多数にて承認されました。

続いて会長より昭和60年度活動方針及び中間事業報告があり、事務長より昭和60年度予算案が提案され承認されました。

尚、①受取利息が少ないのではないかと②支部交付金の使用方を検討してもらいたい。③未収金を減らせないか? という質疑に対し、次のように回答されました。(報告致します)

- ①受取利息には郵便貯金の分が計上されていない。(郵便貯金の利息は引出し時には計上されるが、引出していない為)
- ②支部交付金については各支部における通信費の援助という形で予算枠を設けているものの、支部についての規程が未だ定められておらず本部にて検討中の状況であり、具体的な援助は、いましばらく待ってほしい。
- ③未収金(終身会費未納分)は、1~5期生(発足当初は年会費制としていた為)の住所不明者に集中しており、現在は卒業時の完全な徴収により、増えることはない状況にあります。今後とも未納者に対する納入の呼びかけを行なってまいります。

その後、次期三役の承認に入り会長に諏訪部豊氏 (E9)、副会長に山本克之氏 (M17)、事務長に平松雅彦氏 (M12) が承認され、新三役の挨拶の後、議事はすべて終了し、議長団は解任されました。

引き続き市川先生による講演「図太い神経と、か細い洞察力」一光源氏の生き方—が行なわれました。

その後懇親会に移り、来賓・教職員の方々にスピーチなどをいただき、旧交をあたためる楽しい歓談の一時をすごすことができました。

最後に理事をはじめとし、顧問教官、職員の皆様御協力ありがとうございました。

昭和60年度運営会計経費収支予算案

拠出収入 (昭和60年4月1日~昭和61年3月31日)

科 目	予 算 額
終 身 会 費	2,460,000
受 取 利 息	200,000
雑 収 入	100,000
合 計	2,760,000

経費支出

科 目	予 算 額
会 議 費	200,000
通 信 費	600,000
事 務 用 品 費	50,000
慶 弔 費	150,000
同 窓 会 だ よ り	200,000
印 刷 費	200,000
郵 便 振 替 料 金	10,000
支 部 交 付 金	150,000
旅 費 交 通 費	100,000
減 価 償 却 費	0
総会懇親会特別会計	100,000
雑 費	50,000
予 備 費	950,000
合 計	2,760,000

監 査 報 告

厳正なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入・支出とも適正で、昭和58年度、昭和59年度収支決算報告書及び貸借対照表の記載に相違ないことを認めます。

昭和60年10月11日

監事 仁科和晴 (M2)
近藤博明 (M8)

昭和58年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入 (昭和58年4月1日~昭和59年3月31日)

科 目	決 算 額	予 算 額	比 較
終 身 会 費	1,570,000	1,570,000	0
受 取 利 息	237,226	200,000	37,226
雑 収 入	906,660	750,000	156,660
合 計	2,713,886	2,520,000	193,886

経費支出

科 目	決 算 額	予 算 額	比 較
会 議 費	121,778	300,000	178,222
通 信 費	543,100	400,000	△143,100
事 務 用 品 費	21,130	50,000	28,870
慶 弔 費	15,000	100,000	85,000
同 窓 会 だ よ り	100,600	200,000	99,400
印 刷 費	32,500	200,000	167,500
郵 便 振 替 料 金	19,450	15,000	△ 4,450
支 部 交 付 金	0	150,000	150,000
名 簿 作 成 費	2,482,000	2,500,000	18,000
旅 費 交 通 費	44,400	100,000	55,600
減 価 償 却 費	6,803	1,000	△ 5,803
総会懇親会特別会計	50,000	50,000	0
雑 費	17,373	50,000	32,627
剰余金予備費	△740,248	△1,596,000	△855,752
合 計	2,713,886	2,520,000	△193,886

昭和58年度貸借対照表 (昭和59年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金	89,718	前 受 金	2,160,000
郵 便 振 替	886,430	什器備品基金	3,850
郵 便 貯 金	3,000,000	減価償却引当金	34,650
銀行普通預金	2,206,514		
銀行定期預金	2,500,000		
未 収 金	2,350,000	未収金引当金	2,350,000
仮 払 金	50,000		
什 器 備 品	3,850	剰 余 金	6,538,012
合 計	11,086,512	合 計	11,086,512

昭和59年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入(昭和59年4月1日～昭和60年3月31日)

科 目	決算額	予算額	比較
終身会費	2,160,000	2,160,000	0
受取利息	251,763	200,000	51,763
雑収入	311,000	300,000	11,000
合計	2,722,763	2,660,000	62,763

経費支出

科 目	決算額	予算額	比較
会議費	125,085	200,000	74,915
通信費	594,900	600,000	5,100
事務用品費	17,845	50,000	32,155
慶弔費	178,000	100,000	△78,000
同窓会誌印刷費	570,000	600,000	30,000
郵便振替料	3,610	10,000	6,390
支部交付金	0	150,000	150,000
旅費交通費	0	100,000	100,000
減価償却費	0	0	0
雑費	6,510	50,000	43,490
予備費			
当期剰余金	1,174,813	700,000	△474,813
合計	2,722,763	2,660,000	△62,763

昭和59年度貸借対照表(昭和60年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
現金	1,425	借入金	5,000
郵便振替	39,320	前受金	2,460,000
郵便貯金	3,000,000	什器備品基金	3,850
銀行普通預金	676,730	減価償却引当金	34,650
銀行定期預金	6,500,000		
未収金	2,295,000	未収金引当金	2,295,000
仮払金	50,000		
什器備品	3,850	剰余金	7,767,825
合計	12,566,325	合計	12,566,325

昭和60年度卒業予定者の就職状況

学生主事 大橋 定

例年通り就職業務は、年内に就職希望者全員が内定し、無事終了することができました。

数年来自動車・エレクトロニクス関連で輸出の増加が続き、貿易黒字が問題となり、最近では加速する円高ドル安、原油価格の値崩れなど、世界経済が緊迫の度を強めております。

一方国内では、内需拡大が叫ばれておりますが、造船・セメント業界等市況の低迷が続き、厳しい“冬”が続いております。このような不況が報道されているなかで、企業の求人状況が心配されました。しかし、沼津高専生に対する企業側の期待は昨年と変わらず、別表1のようや増加しています。電気工学科は、例年のように相変わらず多く、機械工学科は昨年と同程度、工業化学科は約3割の増となっております。昨年の“高専だより”に記しましたが、求人倍率のみを見て希望通りの企業に安易に就職できると思われては早計過ぎます。

別表2および3で分かるように、昭和58年度以降の資本金別就職先を見ると有名大学並の分布になり、今年度は約4割強が資本金100億以上に内定しています。しかし、資本金1億未満の企業に就職せざるを得ない学生も約1割いることも知っていただきたいのです。

企業は、やる気のある人物を望んでおります。沼津高専生の名前のみで就職できた時代は、過去のものとなってきました。積極性のある、人物優秀な学生を求めています。また、専門科目のみならず一般教養を身に付けた人物をも求めています。卒業生が楽にしてくれた評価に甘んずることなく、学生は勿論のことご父兄の協力がなければいけないと思います。この点を十分にご理解いただきたく存じます。

昭和61年3月卒業予定者の進路状況

昭和61年1月22日現在 表1

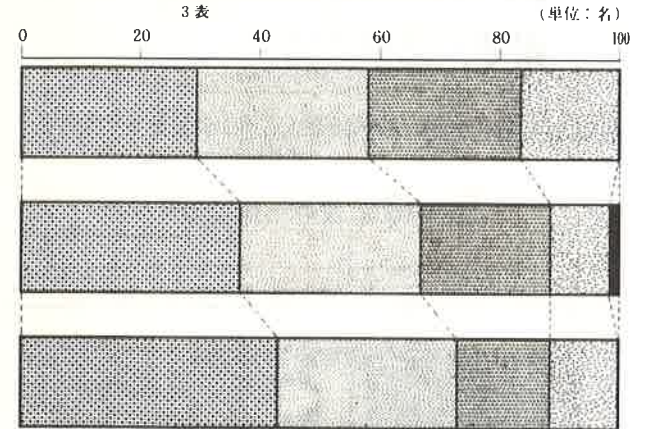
学科名	卒業予定者	就職希望者	その他	就職関係		
				内定者	求人数	求人倍率
A 機 械 工 学 科	42	31	31	605	750	10.9
	42	38	2	38		
電 気 工 学 科	41	32	32	614	781	24.4
工 業 化 学 科	32	23	1	22	362	15.7
計	157	124	3	123	1893	15.3

資本金別就職状況比較表

昭和61年1月22日 表2

卒業年月	資本金 100億以上	10億～100億	1億～10億	1億未満	官公庁	計
昭和59年3月	31名 29.5%	30名 28.6%	27名 25.7%	17名 20.6%	0名 0%	105名 100%
昭和60年3月	49名 36.8%	40名 30.1%	29名 21.8%	13名 9.8%	2名 1.5%	133名 100%
昭和61年3月	53名 43.1%	37名 30.1%	19名 15.4%	14名 11.4%	0名 0%	123名 100%

資本金別就職状況比較表



59年3月	100億以上	31	29.5%
	10億～100億	30	28.6%
	1億～10億	27	25.7%
	1億未満	17	16.2%
	官公庁		
60年3月	100億以上	49	36.8%
	10億～100億	40	30.1%
	1億～10億	29	21.8%
	1億未満	13	9.8%
	官公庁	2	1.5%
61年3月	100億以上	53	43.1%
	10億～100億	37	30.1%
	1億～10億	19	15.4%
	1億未満	14	11.4%
	官公庁		

株式会社

HKS

- 競走用エンジン設計製造 ●スーパーチャージャーキット開発 ●マフラー製造
- オートレース用エンジン製造

求む ①生産技術スタッフ
②エンジン開発実験スタッフ

〒418-02 静岡県富士宮市上井出2266
TEL 0544-54-0484

代表取締役 長谷川浩之 (M1卒)

有限会社

加山工業所

- 精密機械部品 ●建築金物製造

社員募集

詳細は下記まで御連絡下さい。

〒421-01 静岡市用宗巴町1-9
TEL 0542-59-6139

代表取締役 山下 隆生 (E1卒)

塩川内外特許事務所

- 国内国外特許関係全般

求む!スタッフ

経験不問詳細は下記まで。

〒105 港区虎ノ門1-23-7第23森ビル8F
TEL 03-591-6031

塩川 修治 (M3卒)

CS

CREAM SOFT

Personal Computer Shop
SOFT&HARD

- パソコン ●ワープロ ●ビデオシステム

〒410 静岡県沼津市大手町2-7-6
パティオモアマンション504
TEL 0559-51-5033

斉藤 直秀 (M12卒)

創業明治十年

四代目お茶屋

初夏の風八十八夜の新茶をどうぞ

- 事務所、業務用のお茶を取揃えます。
- 銘茶の地方発送を承ります。

〒410 静岡県沼津市市場町11-21
TEL 0559-31-1379

福本 薫 (E12卒)

JAPAN COMMUNICATIONS

creative office
株式会社

ジャパン コミュニケーション

流通・自動車関係の広告全般

ユニークな人材求む!

〒410 静岡県沼津市柳町3-15
TEL 0559-23-0123

代表取締役 小池 龍三 (M1卒)